

2025 全国ダウン症アスリート陸上競技記録会 競技注意事項

1. 本大会は、2025 年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて実施するとともに、2025 年度全国障害者スポーツ大会競技規則を参考にする。なお、小学生については、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。

2. 練習は第 2 陸上競技場を使用し、雨天時に限り競技場に隣接する「室内走路」の使用を認める。

3. 競技について

- ① アスリートビブスは、交付された大きさのまま胸と背に装着すること。ただし、走幅跳は胸・背いづれかに装着するだけでもよい。
- ② トラック競技のレーン順、及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載順による。
- ③ スタートの合図は英語とし、1 回目の不正スタートで失格となる。なお、オープンの部と小学生については、同じ競技者が 2 回不正スタートをした場合、その競技者は失格となる。ただし、オープンの部と小学生に限り、失格者はオープン参加で走ることを認める。
- ④ 60m のスタートは、クラウチングスタート、スタンディングスタートどちらでも可とする。
※クラウチングスタートの際、スターティングブロックの使用は任意とする。
- ⑤ スターティング・ブロックの設置が困難な場合、「スターティング・ブロック補助申請書」を招集時に提出することで、競技者に代わり競技役員がスターティング・ブロックを設置することができる。
- ⑥ 助走路を使用するフィールド競技では、主催者が用意したマーカーを助走路に 2 個迄置くことができる。また、サークルから行う投てき競技では、1 個だけ使用できる。設置が困難な場合、「マーカー補助申請書」を招集時に提出することで、競技者に代わり競技役員がマーカーを設置することができる。
- ⑦ 無断で競技場を離れたり、ビデオや携帯電話等を競技場内に持ち込んだりすることはできない。
- ⑧ 主催者側の判断により、必要に応じて腰ナンバー標識をつける場合がある。
- ⑨ 同一時間帯に複数の種目に出場する競技者は「重複出場届」を必ず招集時に提出すること。

4. 招集について

競技者は招集完了時刻までに、100m スタート付近の招集所に集合すること。退場は競技役員の指示による。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始時刻の 3 0 分前	2 0 分前
フィールド競技	競技開始時刻の 4 0 分前	3 0 分前

5. 競技について

- ① スパイクのピンの長さは 9mm 以下とする。また、やり投の場合は、12mm 以下とする。
靴底の厚さが規定を超えるシューズでの出場は認められない。(2024 年 11 月 1 日ルール変更)
(競技規則 6 条 6 参照)
 - ・トラック競技もフィールド競技も靴底の厚さは 2 0 mm 以内
WA のシューズリストのリンク <https://certcheck.worldathletics.org/>
ただし、障がい特性により医療目的の中敷きが無くては競技が困難な競技者は、TIC に「リクエスト・フォーム」を提出して許可を得ること。

6. 競技用具について

投てき用具については、原則として競技場備え付けのものを使用する。

(やり：男子 600 g、女子 400 g 砲丸：男子 4 kg、女子 3kg)

7. 衣服の脱着や移動等において競技者が困難を要する場合は、「リクエスト・フォーム」を記入し TIC に提出すること。受理された場合に限り、主催者側で用意したビブスを着用し、介助に当たることができる。その際、競技エリアでは、競技役員の指示に従うこと。